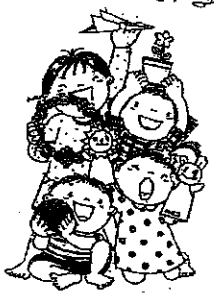
2024年度 いちご ぐみ クラスだより



敦賀教会幼稚園 園長 有岡史峯
5月29日 発行 執筆者 渡 菜々子

爽やかな風に暖かい日差し。外遊びが楽しい季節になりました。幼稚園生活が始まり、あっという間に2ヵ月が経ちました。新しい環境に慣れていく中で、沢山の笑顔を見せてくれるようになり、嬉しく思います。また、教師や友だちとの関わりも増え、挨拶を交わしたり、名前を呼び合ったりする姿も見られます。微笑ましいです。

テラスに出ると他のクラスの友だちが出ており、お兄さん、お姉さんたちと一緒に虫を探したり、遊びを楽しんだり… 関わりを通して沢山の刺激を受けながら過ごしています。"自分でしたい！・やってみたい！"という気持ちも現れ、新しいことにもどんどん挑戦していく子どもたちです。1人ひとりの思いを受け止め、丁寧に寄り添っていきたいと思います。

大きくなあれ!!

トマトの苗を植えました

栽培物の成長に気づき、収穫を楽しみに育てることができるよう、トマトの苗を植えました！「この葉っぱや茎が大きくなるとトマトができるんだよ！」と教師が話すと、「ええ！そうなの！」「楽しみ！」と驚き、期待が高まる子どもたち！収穫した際、どのように調理するのか、今から楽しみです!!

向日葵の苗を植えました

テラスに出るといちご組の畑に向日葵の苗が植えてあることに気付いた子どもたち。「これは何？」と興味津々！「みんなの身長よりも高く育つ向日葵や、小さい向日葵が沢山咲くんだよ！」と話すと、「早く大きくなあれ！」と成長が待ち遠しいみんなです！

子どもたちと一緒に水やりを行いながら、成長を楽しみに育てたいと思います。

～ お願い ～

☆ 外遊びが充実する季節です。
毎日汚れても良い服装で登園してきてください。着替えと袋は翌日、補充分をお持たせください。

☆ 細かな物への記名のご協力、ありがとうございます。消えてしまっている物もありますので、再度確認をお願いします。

☆ 身の回りのことを自分でやってみようとする姿が見られます。子どもたちが扱いやすい物を整えてお持たせ頂けるよう、よろしくお願いします。
一人で出来た喜びにも繋がります！

遊びの中の学びの芽

エピソード：泥水遊び

ある日園庭に出ると砂場の横に前日の雨によってできた水たまりがありました。先に園庭に出ていたお兄さん、お姉さんたちが、スコップやバケツを使って泥を運んだり、食べ物を作ったりして遊んでいました。その様子を見ていたG君はすぐに水たまりの傍へ行きました。いつものサラサラした砂ではないことに気付き、両手を思いっきり水たまりの中へ入れたG君。何度も手を入れてはバシャバシャと水が跳ねたり、ドロドロっと泥が手に付いたり・・・泥水の感触を楽しみ、笑顔いっぱいの表情で遊んでいました。しばらくすると、近くにいたお兄さんが、スコップやバケツを使って遊んでいることに気づきます。G君もお兄さんの遊びを真似しながらバケツに泥を入れ、ひっくり返しては、また入れて…と1つの水たまりで様々な遊び方を楽しんでいました。

実際に泥に触れることで感触の違いや面白さを味わい、満足感を得ることができました。又、遊びの様子を眺めることで周囲への興味や関心を高めることができました。